

令和 7 年第 10 回稲沢市農業委員会総会会議録

令和 7 年 10 月 24 日 稲沢市産業会館 第 2 研修室

出席委員

議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
1 番	大崎 和生	2 番	服部 猛
3 番	平手 秀夫	4 番	櫻井 吉美
5 番	丹下 和行	6 番	永井 八千代
7 番	加島 由隆	8 番	家田 里美
9 番	大谷 典央	10 番	春田 美智代
		12 番	近藤 昌弥
13 番	後藤 恵美	14 番	石田 豊
15 番	堀田 泰樹	16 番	伊藤 英樹
17 番	伊藤 弥寿夫	18 番	三井 啓司
19 番	関戸 梓		

欠席委員

11 番	澤田 彰俊		
------	-------	--	--

【事務局】出席者

局 長	長崎 倫典	主 幹	川口 善徳
主 事	大崎 菜々子		川崎 良介

【農務課】出席者

主 幹	廣瀬 信博	主 任	西川 敦
-----	-------	-----	------

午後 1 時 58 分開会

【事務局】

定刻になりましたので、始めさせていただきます。

議事に入ります前に、職員の紹介をさせていただきます。10 月 1 日付けの人事異動によりまして、上田主事に代わり川崎良介君が農業委員会事務局に配属となりました。川崎より一言ごあいさつ申し上げます。

(川崎あいさつ)

そのほかの職員の異動はございませんので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

それでは、会議を進めさせていただきます。

なお、この後(あと)の会議については着座にて進めさせていただきたいと考えておりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。それでは、令和 7 年第 10 回稲沢市農業委員会総会を始めさせていただきます。

本日の欠席委員は澤田彰俊委員の 1 名でございます。

なお、総会の議長につきましては、農業委員会等に関する法律第 5 条第 3 項の規定により「会長は会務を総理する」こととなっておりますので、大崎会長、議事進行をよろしくお願い致します。なお、この後の会議につきましては着座にて進めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

【会長】

皆さん、こんにちは。委員の皆様におかれましては、ご多忙のところ総会にご出席いただき誠にありがとうございます。昨年 10 月 1 日に農業委員として任命され、1 年が経過しました。皆様には、農業委員の活動に御尽力いただいているところでありますが、これからも稲沢市の農業発展のため、お力添えをいただきますよう、よろしくお願い致します。

それではただいまから、令和 7 年第 10 回稲沢市農業委員会総会を開会いたします。本日の出席委員は 18 名であり、会議の成立を認めます。これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付したとおりですので、報告にかえます。これより日程に入ります。

日程第 1 議事録署名委員の指名を行います。議事録署名委員は当席において 12 番近藤昌弥委員及び 13 番後藤恵美委員を指名いたします。

次に日程第 2 議案第 50 号「農地法第 3 条の規定による許可申請について」を議題といたします。事務局から説明を求めます。

【事務局】

総会提出議案 2 ページをお願い致します。

議案第 50 号「農地法第 3 条の規定による許可申請について

農地法第 3 条第 1 項の規定による許可申請書を次のとおり受理したので、同条同項の規定により農業委員会の議決を求める。本日付け提出 会長名でございます。

所有権移転の案件から説明いたします。3 ページをお願いいたします。

番号 1 番

申請地 地目 面積 を朗読。

売買での所有権移転です。

受人は隣接する自己所有農地があり、効率的に農業ができるため、申請地を取得するものです。

受人は現在 59,497 ㎡の農地を耕作しており、個人で年間 100 日、世帯で 250 日農業に従事し、繁忙期は臨時雇用労働力として 100 人雇用する計画となっております。

番号 2 番

申請地 地目 面積 を朗読。

遺贈での所有権移転です。

登記地目は田ですが、現況は畑となっております。

兄から遺贈により継承し、受人は新規取得で農業経営を開始するものです。

707 ㎡の農地で果樹を栽培、個人で年間 150 日、世帯では 200 日農業に従事する計画となっております。

番号 3 番

申請地 地目 面積 を朗読。

売買での所有権移転です。

登記地目は田ですが、現況は畑となっております。

申請地は、受人自宅の近隣に位置し、効率的に農業ができるため取得するものです。

371 ㎡の農地で果樹を栽培、個人で年間 300 日、世帯では 600 日農業に従事する計画となっております。

番号 4 番

申請地 地目 面積 を朗読。

売買での所有権移転です。

登記地目は田ですが、現況は畑となっております。

渡人と受人は親子関係にあります。

渡人が市外在住で耕作が難しいため、申請地近隣在住の受人に所有権移転するものです。

受人は現在 1,269 ㎡の農地を耕作しており、個人で年間 160 日農業に従事しています。

番号 5 番

申請地 地目 面積 を朗読。

売買での所有権移転です。

申請地は、受人自宅の近隣に位置し、効率的に農業ができるため取得するものです。

受人は現在 3,688 m<sup>2</sup>の農地を耕作しており、個人で年間 90 日、世帯で 180 日農業に従事しています。

4 ページをお願いいたします。

番号 6 番

申請地 地目 面積 を朗読。

交換での所有権移転です。

市名義の田と受人所有の道路を交換するための申請です。申請地は受人所有地と隣接しており、効率的に農業ができるため取得するものです。

受人は現在 22,435 m<sup>2</sup>の農地を耕作しており、個人で年間 80 日、世帯で 160 日農業に従事しています。

番号 7 番

申請地 地目 面積 を朗読。

売買での所有権移転です。

受人と渡人は遠い親戚という関係で、渡人が遠方で耕作できないため申請地を本家に返却するものです。申請地は、受人自宅の近隣に位置し、効率的に農業ができるため取得するものです。

受人は現在 126 m<sup>2</sup>の農地を耕作しており、個人で年間 150 日農業に従事しています。

番号 8 番

申請地 地目 面積 を朗読。

売買での所有権移転です。

申請地は、受人自宅の近隣に位置し、効率的に農業ができるため取得するものです。

198 m<sup>2</sup>の農地で水稻を栽培、個人で年間 150 日農業に従事する計画となっております。

番号 9 番

申請地 地目 面積 を朗読。

売買での所有権移転です。

登記地目は田ですが、現況は畑となっております。

申請地は、受人自宅の近隣に位置し、効率的に農業ができるため取得するものです。

受人は現在 134 m<sup>2</sup>の農地を耕作しており、個人で年間 180 日農業に従事しています。

番号 10 番

申請地 地目 面積 を朗読。

売買での所有権移転です。

登記地目は田ですが、現況は畑となっております。

受人は隣接する自己所有農地があり、効率的に農業ができるため、申請地を取得するものです。

受人は現在 11,811 m<sup>2</sup>の農地を耕作しており、個人で年間 300 日、世帯で 500 日農業に従事しています。

番号 11 番

申請地 地目 面積 を朗読。

売買での所有権移転です。

受人は隣接する自己所有農地があり、効率的に農業ができるため、申請地を取得するものです。

受人は現在 4,597 m<sup>2</sup>の農地を耕作しており、個人で年間 150 日農業に従事しています。

5 ページをお願いいたします。

ここからは、権利設定の案件になります。

番号 12 番

申請地 地目 面積 を朗読。

令和 7 年 11 月 1 日から 8 年間の賃借権の設定です。

受人は認定新規就農者で、申請地一体を賃借することで効率的に耕作します。

受人は現在 4,763 m<sup>2</sup>の農地を耕作しており、個人で年間 290 日農業に従事しております。

6 ページの総括表をお願いします。

申請件数は合計 12 件、移動の土地は、田 14 筆 5,697 m<sup>2</sup>、畑 10 筆 3,081 m<sup>2</sup>、合計 24 筆 8,778 m<sup>2</sup>です。

以上 12 件のうち、番号 1 番から 12 番につきましては、お手元に配布してあります意見書のとおり、農地法第 3 条第 2 項・3 項各号に該当しないため、許可要件を全て満たしております。

【会長】

説明が終わりました。質疑はございませんか。

質疑もないようですので、これより採決いたします。

議案第 50 号「農地法第 3 条の規定による許可申請について」は、原案どおり許可することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

全会一致と認め、原案どおり決しました。

次に日程第 3 議案第 51 号「農地法第 4 条の規定による許可申請について」を議題といたします。事務局から説明を求めます。

【事務局】

7 ページをお願いします。

議案第 51 号「農地法第 4 条の規定による許可申請について」です。農地法第 4 条第 1 項の規定による許可申請書を次のとおり受理したので、同条 3 項の規定により農業委員会の意見を求める。本日付け提出、会長名でございます。

農地区分の詳細説明は、別に用意しました農地転用資料と併せてご確認をお願いします。それでは議案の説明に移ります。

8 ページをお願いします。

番号 1 番 申請地 地目 面積 を朗読。

こちらは、駐車場を設置します。農地区分は第 2 種農地です。

番号 2 番 申請地 地目 面積 を朗読。

こちらは駐車場を設置します。農地区分は第 3 種農地で宅地 578.75 を一体利用します。

9 ページをお願いします。

4 条の申請件数は、2 件 転用の土地 田 2 筆 283 m<sup>2</sup> 畑 1 筆 223 m<sup>2</sup> 合計 3 筆 506 m<sup>2</sup> です。

以上 4 条申請 2 件につきましては、立地基準及び一般基準ともに満たしており、許可相当と判断します。以上です。

【会長】

説明が終わりました。質疑はございますか。

質疑もないようですのでこれより採決いたします。

議案第 51 号「農地法第 4 条の規定による許可申請について」は、原案どおり許可相当として愛知県知事に送付することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

全会一致と認め、原案どおり決しました。

次に日程第 4 議案第 52 号「農地法第 5 条の規定による許可申請について」を議題といたします。事務局から説明を求めます。

【事務局】

10 ページをお願いします。

議案第 52 号「農地法第 5 条の規定による許可申請について」です。農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請書を次のとおり受理したので、同条 3 項の規定により農業委員会の意見を求める。本日付け提出、会長名でございます。

先に所有権移転案件から説明させていただきます。11 ページをお願いします。

番号 1 番 申請地 地目 面積 を朗読。

売買による所有権移転です。こちらは、駐車場及び資材置場を設置します。農地区分は第 2 種農地です。

番号 2 番 申請地 地目 面積 を朗読。

売買による所有権移転です。こちらは資材置場を設置します。農地区分は第 3 種農地です。

番号 3 番 申請地 地目 面積 を朗読。

売買による所有権移転です。こちらは、工場を設置します。農地区分は第 1 種農地ですが、集落に接続しているため許可要件を満たしております。雑種地等 2,798.69 m<sup>2</sup>と一体利用します。

12 ページをお願いします。

番号 4 番 申請地 地目 面積 を朗読。

売買による所有権移転です。こちらは、分家住宅を設置します。農地区分は第 2 種農地です。こちらは 5 条 11 番の農地と一体利用する案件になります。

番号 5 番 申請地 地目 面積 を朗読。

売買による所有権移転です。こちらは、車輛置場を設置します。農地区分は第 3 種農地で、雑種地 201 m<sup>2</sup>と一体利用します。

番号 6 番 申請地 地目 面積 を朗読。

売買による所有権移転です。こちらは、太陽光パネルを設置します。農地区分は第 3 種農地です。

続きまして、13 ページをお願いします。ここから権利設定の案件になります。

番号 7 番 申請地 地目 面積 を朗読。

使用賃借権の権利設定です。こちらは分家住宅を建築します。農地区分は第 2 種農地です。

番号 8 番 申請地 地目 面積 を朗読。

使用賃借権の権利設定です。こちらは分家住宅を建築します。農地区分は第 2 種農地です。

番号 9 番 申請地 地目 面積 を朗読。

使用賃借権の権利設定です。こちらは、分家住宅を建築します。農地区分は第 2 種農地です。

番号 10 番 申請地 地目 面積 を朗読。

賃借権の権利設定です。こちらは駐車場を設置します。農地区分は第 3 種農地で、雑種地 235 m<sup>2</sup>と一体利用します。

番号 11 番 申請地 地目 面積 を朗読。

使用賃借権の権利設定です。こちらは分家住宅を建築します。農地区分は第 2 種農地です。こちらは先に出てきた 5 条 4 番と一体利用する案件になります。

番号 12 番 申請地 地目 面積 を朗読。

使用賃借権の権利設定です。こちらは分家住宅を建築します。農地区分は第 3 種農地です。

番号 13 番 申請地 地目 面積 を朗読。

賃借権の権利設定です。こちら工事施工業者は資材置場として一時的に利用するものです。一時転用期間は令和 7 年 11 月 1 日から令和 8 年 2 月 28 日までです。農地区分は農用地ですが、一時的な利用に供するために行うものであり、農業振興地域整備計画の達成に支障を及ぼす恐れがないため、許可要件に満たしております。

14 ページの総括表をご覧ください。

5 条の申請件数は、13 件 転用の土地 田 15 筆 7,129 m<sup>2</sup> 畑 8 筆 3,294 m<sup>2</sup> 合計 23 筆 10,423 m<sup>2</sup>です。

以上 5 条申請 13 件につきましては、立地基準及び一般基準ともに満たしており、許可相当と判断します。以上です。

【会長】

説明が終わりました。質疑はございますか。



質疑もないようですのでこれより採決いたします。

議案第 52 号「農地法第 5 条の規定による許可申請について」は、原案どおり許可相当として愛知県知事に送付することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

全会一致と認め、原案どおり決しました。

次に日程第 5 議案第 53 号「農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条第 3 項の規定による農用地利用集積等促進計画案(一括設定)に対する意見聴取について」を議題といたします。事務局から説明を求めます。

【事務局】

総会提出議案 15 ページをお願い致します。

議案第 53 号「農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条第 3 項の規定による農用地利用集積等促進計画案に対する意見聴取について」

農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条第 2 項の規定による農用地利用集積等促進計画案（一括設定）を次のとおり受理したので、同条第 3 項の規定により農業委員会の意見を求める。

本日付け提出会長名でございます。

16 ページをお願いします。

こちらは、地権者、農地中間管理機構である愛知県農業振興基金及び耕作者を一括して利用権設定する農用地利用集積等促進計画案になります。

申請地を朗読。

賃借権の設定は 10 筆、使用貸借権の設定は 1 筆です。

貸借期間は令和 7 年 12 月 1 日から令和 10 年 12 月 31 日までが 1 筆、令和 7 年 12 月 1 日から令和 17 年 12 月 31 日までが 10 筆です。

17 ページ総括表をお願い致します。

田 11 筆 2,686.50 m<sup>2</sup> 合計 11 筆 2,686.50 m<sup>2</sup>になります。

これら利用集積の案件については、利用権の設定をすることに差し支えないものと判断します。

以上です。

【会長】

説明が終わりました。質疑はございますか。

質疑もないようですのでこれより採決いたします。

議案第 53 号「農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条第 3 項の規定による農用地利用集積等促進計画案(一括設定)」は、原案どおり決することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

全会一致と認め、原案どおり決しました。

次に日程第 6 議案第 54 号「農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条第 3 項の規定による農用地利用集積等促進計画案(受け手の変更)に対する意見聴取について」を議題といたします。事務局から説明を求めます。

【事務局】

総会提出議案 18 ページをお願い致します。

議案第 54 号「農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条第 3 項の規定による、農用地利用集積等促進計画案（受け手の変更）に対する意見聴取について」

農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条第 2 項の規定による農用地利用集積等促進計画案（受け手の変更）を次のとおり受理したので、同法第 19 条第 3 項の規定により農業委員会の意見を求める。

本日付け提出会長名でございます。

19 ページをお願いします。

こちらの案件につきましては、既に利用権設定された農地について、受け手を変更する計画案となります。

申請地を朗読。

賃借権の設定は 2 筆です。

貸借期間は令和 7 年 12 月 1 日から令和 10 年 12 月 31 日までが 2 筆です。

20 ページ総括表をお願い致します。

合計 田 2 筆 1,643 m<sup>2</sup> になります。以上です。

【会長】

説明が終わりました。質疑はございませんか。

【副会長】

・今回、中間管理機構が間に合わないのか。

- ・受人が変更になった理由は把握しているか。

【事務局】

- ・中間管理機構が仲介しております。
- ・把握しておりません。

質疑もないようですのでこれより採決いたします。

議案第 54 号「農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条第 3 項の規定による、農用地利用集積等促進計画案（受け手の変更）に対する意見聴取について」原案どおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

全会一致と認め、原案どおり決しました。

次に日程第 7 議案第 55 号 相続税の納税猶予に関する適格者証明について を議題いたします。事務局から説明を求めます。

【事務局】

総会提出議案 21 ページをお願いします。

議案第 55 号 相続税の納税猶予に関する適格者証明について。

租税特別措置法第 70 条の 6 第 1 項の規定の適用を受けるため、次のとおり証明願いを受理したので、農業委員会の意見を求める。本日付け提出、会長名でございます。

22 ページをお願いします。

番号 1 番 申請地 地目 面積 を朗読。

相続開始年月日 令和 7 年 6 月 24 日

これらの適用農地につきまして現地確認をした結果、適正に管理されていました。

24 ページ総括表をお願いいたします。

相続税の納税猶予に関する適格者証明は、1 件

田 7 筆 7,203 m<sup>2</sup> 畑 6 筆 2,696 m<sup>2</sup> 合計 9,899 m<sup>2</sup> になります。

これらの申請については、全て特例適用要件を満たしており、支障等はないものと考えます。 以上です。

【会長】

説明が終わりました。質疑はございませんか。

質疑もないようですので、これより採決します。

議案第 55 号 相続税の納税猶予に関する適格者証明について、現案どおり証明すること

に賛成の方は挙手願います。

賛成多数と認め、原案通り証明することに決しました。

次に日程第 8 議案第 56 号 農業振興地域の整備に関する法律施行規則第 3 条の 2 の規定による農業振興地域整備計画の変更に対する意見聴取について を議題といたします。事務局から説明を求めます。

【農務課】

農務課 西川と申します。よろしくお願いします。

総会提出議案 26 ページをお願いします。

議案第 56 号

農業振興地域の整備に関する法律施行規則第 3 条の 2 の規定による農業振興地域整備計画の変更に対する意見聴取について

農業振興地域の整備に関する法律第 13 条第 1 項の規定による農業振興地域整備計画の変更を次のとおり受理したので、同法施行規則第 3 条の 2 の規定により農業委員会の意見を求める。

本日付け提出、会長名でございます。

私からは、稲沢農業振興地域整備計画書について、ご説明させていただきます。

まず、お手元に配布してあります資料について確認させていただきます。

(配布資料の確認)

それでは、お手元の資料に基づきまして説明させていただきます。

稲沢市農業振興地域整備計画の見直しについて、概要の 1 ページ目をご覧ください。

優良農地の確保のため、農地法による農地転用許可制度と併せ、農業振興地域の整備に関する法律に基づく農業振興地域制度が設けられています。

この農振法において、市町村は、農業振興地域整備計画を定めなければならないとされており、その農業振興地域整備計画は、10 年間を見越した農業振興に係る基本計画として策定するものですが、本市では、昭和 49 年度に整備計画を策定し、その後、平成 4 年、10 年、15 年、17 年、20 年度、30 年度の 6 回にわたり整備計画の見直しをしてきました。また、前回の見直し以降 7 年が経過し、社会・経済情勢の推移、本整備計画と密接に関係している第 6 次稲沢市総合計画、都市計画マスタープランとの整合性、農振法改正、人・農地プラン法定化により施行された地域計画等に対応する必要があるため、農業振興地域整備計画の見直しを行い、改定を実施するものです。

そのため、令和 6 年度に農振法に基づく基礎調査を実施し、その結果により整備計画を再検討し、総合的に見直しました。

今回の主な見直し点は、農用地利用計画の見直し、第 6 次稲沢市総合計画に沿う文章等の校正と、各地区における土地利用の方向性の一部見直しであり、それらを計画書に反映しました。

裏面 2 ページ目及び 3 ページ目をご覧ください。

#### 稲沢市農業振興地域整備計画書の主な見直点について

こちらの記載してありますのは、配布してあります計画書新旧対照表の中で、主な変更点について、抜粋して取りまとめたものであります。

また、整備計画書は、第 1 農用地利用計画と第 2～第 8 までの農業振興に関する取組についての各種計画と第 9 の付図で構成されています。

それでは、農業振興地域整備計画書について、新旧対照表をもとに、概要説明させていただきます。

1 ページ目から 8 ページ目は第 1 農用地利用計画でございます。

稲沢市の立地条件や自然的条件、土地利用の現況などから、土地利用の方向を示した農用地利用計画であります。

主に社会情勢変化の反映、基礎調査結果の反映、法令等の改正を反映・変更しました。

9、10 ページ目は第 2 農業生産基盤の整備開発計画でございます。

農業用排水施設など、生産基盤の整備に関する計画であります。

主に 令和 6 年度に実施した基礎調査結果を反映しました。

11 ページ目から 15 ページ目は第 3 農用地等の保全計画でございます。

農地保全のための基盤整備や耕作放棄地対策など、農用地等の保全に関する計画であります。主に 市の基本構想との整合、基盤整備計画の変更を反映しました。

16 ページ目から 19 ページ目は第 4 農業経営の規模の拡大及び農用地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の促進計画でございます。

稲沢市の農業経営形態や他産業の収入状況などから効率的かつ安定的な農業経営の目標を示し、その達成に向けた農地の利用集積や営農支援体制の確立などの計画であります。

主に基本構想との整合、基礎調査結果の反映、農業振興関連計画の反映をしました。

20 ページ目から 23 ページ目は第 5 農業近代化施設の整備計画でございます。

カントリーエレベーター、流通確保施設など、農業の近代化のための施設整備に関する計画であります。

主に 基本方針との整合、基本構想との整合、農業振興関連計画の反映をしました。

24・25 ページ目は第 6 農業を担うべき者の育成・確保施設の整備計画でございます。

新規就農者の育成確保並びにそれに伴う施設の整備に関する計画であります。

主に 基本構想との整合、基礎調査結果の反映との整合を取りました。

26・27 ページ目は第 7 農業従事者の安定的な就業の促進計画でございます。

農業における雇用の関係に関する計画であります。

主に 社会情勢変化（アンケート調査結果）の反映、基本方針との整合を取りました。

28 ページ目から 32 ページ目は第 8 生活環境施設の整備計画でございます。

農業従事者の生活環境施設の整備を図るための目標と方針に関する計画であります。

主に総合計画との整合、事業計画変更のため修正しました。

33・34 ページ目は第 9 付図でございます。

整備計画書には土地利用計画図をはじめ、計画付図が伴いますが、現在愛知県と現地を回り、図面を作成中ですので今回の資料に含まれておりません。

整備計画書には今申しあげたことが反映されておりますので、お目通しください。

最後に、整備計画の策定に関して、今後のスケジュールの話しをさせていただきます。

今回の議案となっている農業振興地域整備計画は、計画を変更するあたり、愛知県知事の同意が必要であるため、現在、愛知県と協議中ですが、概ね整理できたものであり、内諾を得ております。

また、あわせて、農業委員会、愛知西農協、土地改良区等の関係機関の意見聴取も必要であり、その意見聴取を行っているところです。これらの協議・調整が終わり次第、農振法に基づき、公告・縦覧の法定手続きに入り、本年度末には策定完了予定です。

このことから、令和 7 年 3 月から整備計画の見直しのために、農振除外（いわゆる青地除外）の受付を停止しておりますが、令和 8 年 2 月から農振除外の受付再開を予定しています。

なお、今回の整備計画変更案に対して市民、利害関係者等からの異議申出がなされた場合は、さらにその手続きに最長でおよそ 5 ヶ月間を要するため、申出受付期間を変更する場合があります。また、受付再開の旨に関する市民への周知については、市広報及びホームページにて掲載予定です。

以上で、説明を終わります。

説明が終わりました。

質疑はございませんか。

【7 番加島由隆委員】

6 ページ表の計算が合わないが問題ないか。

【農務課】

単位が大きいため、小数点以下を削った結果一見合わないように見えますが問題はありません。

【17 番伊藤弥寿夫委員】

- ・田と畑で青地除外の許可基準は違うのか。
- ・今回青地の見直しということだが、耕作放棄されている畑は除外してもいいのではないのか？

【農務課】

- ・許可基準は基本的には田も畑も同じです。基準については 6 つの要件があり、それに基づいて田も畑も除外するかどうかを決めています。田は水の関係で農地の連続性も考慮されます。
- ・資料 5 ページの (2) 基本方針に基づいて選んでいます。当初から変わっていないものですが、これを無視して遊休農地を白地にすることは現状難しいです。

【会長】

質疑が尽きたようですので、これより採決いたします。

議案第 56 号 農業振興地域の整備に関する法律施行規則第 3 条の 2 の規定による農業振興地域整備計画の変更に対する意見聴取について、異議ないことを稲沢市長へ報告することに、賛成の方は挙手願います。

全会一致と認め、異議ないことを稲沢市長へ報告することに決しました。

次に日程第 9 報告第 31 号 現況証明願の報告について から日程第 11 報告第 33 号 農地法第 18 条第 6 項の規定による通知の報告について まで、一括して事務局から説明を求めます。

【事務局】

それでは 26 ページをお願いします。

報告第 31 号「現況証明願の報告について」です。

現況証明願が、次のとおり証明されましたので報告する。本日付け提出、会長名です。

27 ページをお願いします。

番号 1 番

申請地 地目 面積を朗読。

昭和 46 年より住宅敷地として利用しておりました。

番号 2 番

申請地 地目 面積を朗読。

昭和 46 年より住宅敷地として利用しておりました。

つづきまして、28 ページをお願いします。

報告第 32 号「農地法第 5 条の規定による届出の報告について」です。

農地法第 5 条の規定による届出について、農地法関係事務処理要領の第 4 の 5 の (6) のアの規定により、受理したことを報告する。本日付け提出、会長名です。

29 ページをお願いします。

農地法第 5 条第 1 項第 6 号の届出です。

今回は所有権移転案件のみのご説明です。

番号 1 番

申請地 地目 面積を朗読。

売買による所有権移転で、宅地分譲による転用でございます。

30 ページ総括表をお願いします。

申請件数は 1 件 田 1 筆 134 m<sup>2</sup> 合計 1 筆 134 m<sup>2</sup>です。

つづきまして、31 ページをお願いいたします。

報告第 33 号「農地法第 18 条第 6 項の規定による通知の報告について」です。

農地法第 18 条第 6 項の規定による通知があったので報告する。

本日付け提出、会長名です。

32 ページをお願いします。

番号 1 番

申請地 地目 面積を朗読。

農地売却のため、賃借権を解除します。

番号 2 番

申請地 地目 面積を朗読。

自作のため、賃借権を解除します。

番号 3 番



令和 7 年第 10 回稲沢市農業委員会総会会議録

令和 7 年 10 月 24 日 稲沢市産業会館 第 2 研修室

申請地 地目 面積を朗読。

農地売却のため、賃借権を解除します。

番号 4 番

申請地 地目 面積を朗読。

農地転用のため、賃借権を解除します。

番号 5 番

申請地 地目 面積を朗読。

農地売却のため、賃借権を解除します。

34 ページの総括表をお願いします。

申請件数 5 件 田 12 筆 3,268 m<sup>2</sup> 畑 8 筆 3,724 合計 20 筆 6,992 m<sup>2</sup>です。

以上です。

【会長】

説明が終わりました。質疑はございませんか。

質疑もないようですので、これで報告を終わります。

以上で本日の日程は、終了いたしました。

長時間、御審議いただきありがとうございました。これをもちまして、令和 7 年第 10 回稲沢市農業委員会総会を閉会致します。

午後 3 時 01 分閉会

令和 年 月 日

会長

大崎 和生

12 番委員

近藤 昌弥

13 番委員

後藤 恵美